

支えあいの地域づくり



少子高齢化が進むなか、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、役割をもって社会に参加していく必要があります。だれもが安心して年齢を重ねられる地域にしていくために、支えあいの地域づくりが求められています。

地域の支えあいの考え方(自助・互助・共助・公助)

地域の支えあいは、大きく分けて4つのチカラで成り立っています。

- 自助** 個人や家族とともに自分らしく暮らし、自身のもつチカラで課題を解決していくチカラ。
- 互助** 近隣や友人、回覧版の範囲などの身近な日常生活の支えあい・助けあいの関係の中で解決していくチカラ。
- 共助** 福祉団体・ボランティアなどの支援によるチカラや医療、年金、介護保険、社会保険制度などに代表される被保険者による相互負担の制度やサービスで解決していくチカラ。
- 公助** 自助・互助・共助では解決しきれない問題に、町等の公的なサービス提供や環境づくりを通して解決していくチカラ。



自助や互助は、共助や公助を補完するものではなく、むしろ私たちの人生と暮らしの質を豊かにするものです。一人ひとりの暮らしに密着したより身近な範囲の「自助・互助」の重要性を改めて認識したうえで、「自助・互助・共助・公助」がお互いに支えあい、働きかけあいながらそのしきみを一層強化していく必要があります。

みなさんはどんな地域にしていきたいですか？

暮らしやすい地域づくりのために美里町では、さまざまな取り組みをはじめていますが、それを血の通ったものにしていくには、みなさん自身が地域への関心を強め、ときには担い手として活躍し、互いに支えあうことが欠かせません。身体に多少不自由なところが出てきたとしても、安心して暮らし続けるためにはどんな地域であつたらよいのかを考え、支えあいの地域づくりを目指していきましょう。

「もともとあるサービスや地域で解決できること」、「必要な支援やサービス」は地域ごとに異なります。そのため、支えあいの地域づくりは、地域の特性に合わせてつくっていく必要があります。これは、全住民が当事者となり、未来に向かってつくり上げていく「まちづくり」ともいえるものです。

美里町生活支援体制整備協議会 【美里町・社会福祉法人美里町社会福祉協議会】

〒987-0038 宮城県遠田郡美里町駅東二丁目17-4 (美里町駅東地域交流センター内)

TEL: 0229-32-2940 FAX: 0229-32-5160 E-mail: misato@misato-wel.com

美里町で 安心して暮らし続けるために



～美里町生活支援体制整備事業～



すべての人がいつまでも安心して暮らし続けられるよう、地域全体で支えあっていくしきみを「地域包括ケアシステム」といいます。この地域包括ケアシステムを構築していくために、医療・介護・住まいといった専門職や事業所が提供するサービスだけでなく、「生活支援」・「介護予防」・「社会参加」といった活動や支えあいが地域で日常的に行われるような地域づくりが必要になります。

この支えあいの地域づくりをすすめるため、2014年の介護保険制度の改正により、新たに「生活支援体制整備事業」が設けられました。美里町社会福祉協議会では、2017年に美里町から事業を受託し、美里町生活支援体制整備協議会を設置し、委員のみなさんと「支えあいの地域づくり」を推進しています。

だれもが安心して年齢を重ねられる美里町を目指した取り組み(地域包括ケアの体制づくり)は、わたしたちの住む町でもはじまっています。

美里町生活支援体制整備協議会
美里町・社会福祉法人美里町社会福祉協議会

生活支援コーディネーターが

暮らしやすい地域づくりを 応援します

少子高齢化が進むなか、地域の支えあい以前よりも求められています。地域の困りごとを共有することで、解決策を見つけ、これまで個別に行われていた活動を結びつけたりすることができれば、より暮らしやすい地域になっていきます。

生活支援コーディネーターは、地域のみなさんや福祉の専門職などと協力しながら、地域みんなが気かけあい、見守りあい、支えあえる地域づくりを推進していきます。

生活支援コーディネーター

「地域支えあい推進員」とも呼ばれ、住民の方と一緒に、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう地域づくりを行います。

声

地域のみなさんの声を聞かせてください

些細なことでも
まずは
教えてください。

暮らしやすい地域をつくっていくために、地域のみなさんの活動や困りごとを把握していきます。
みなさんの地域での活動や思いを教えてください。

地域や行政区で
行っている活動は
ありますか？

例えば

・毎日集まって散歩しているよ。
・月1回、公民館に集まってお茶飲み会を開いているよ。

やりたいことや参加
したい地域活動は
ありますか？

例えば

・運動できる機会があったらいいのにな。
・家に引きこもりがちなので、出かける場がほしい。
・〇〇が得意だから、役立てられたらいいな。

地域の便利な
サービスを
知りませんか？

例えば

・〇〇商店は品物を宅配してくれるのよ。
・〇〇美容院は送迎もしてくれるから、本当に助かるの。

不安なことや
困っていることは
ありますか？

例えば

・ひとり暮らしなので、病気になったら不安だなあ。
・足腰が弱って、電球が替えられないんだ。
どうしよう。

生活支援コーディネーターの具体的な活動内容

●地域の活動などの把握・活性化

地域で行われている活動を把握します。また、今ある活動の魅力や効果を広く周知し、地域全体が「元気になる」お手伝いをします。



●生活支援ニーズ(困りごと)の把握

地域の方の困りごとや「あったらいいな」というサービスを把握します。



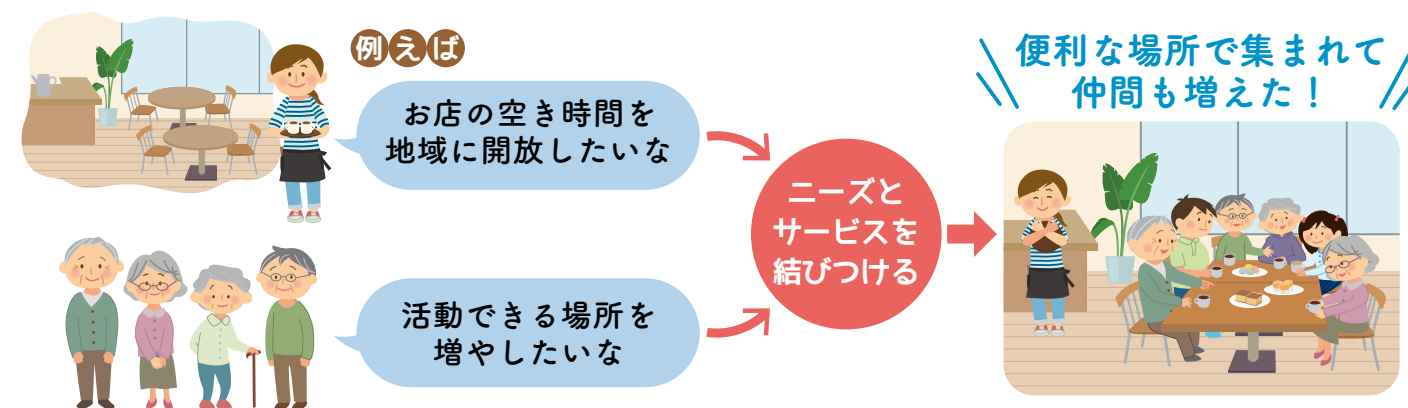
●サービスの担い手の発掘と養成

元気な高齢者やボランティア活動をしたい方を応援します。



●困っている人と手伝いたい人をつなぐ役割

地域のニーズ(困りごと)に対して、解決できるサービスの調整や相談を行います。



●関係者のネットワークづくり

自治体や社会福祉法人などの福祉事業所、NPO、ボランティア、老人クラブや婦人会などの地域活動組織、企業などのネットワークづくりを進めます。

支えあえる
地域にしてい
くために

「おたがいさま」が、
地域をつなぐ。

誰かの役に立つことは、充実感や生きがいにつながります。
あなたにできることがきっとあります。その一方で、困ったときは「おたがいさま」とともに支えあいましょう。

将来、誰でも人の手を
借りるときがくる。

今日のだれかの困りごとは、明日の私の困りごとかもしれません。今、困っている人を助けたり、困りごとを解決するしくみをつくっていくことは、現在だけでなく、未来を明るくしていくことでもあります。

